

2022年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月9日

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社

上場取引所 東

コード番号 6284 URL <https://www.nisseiasb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 COO (氏名) 宮坂 純一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 容貝 泉夫 TEL 0267-23-1560

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第1四半期の連結業績 (2021年10月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第1四半期	6,847	△13.2	1,153	△39.9	1,545	△10.0	1,125	△12.5
2021年9月期第1四半期	7,886	34.3	1,918	172.0	1,716	136.3	1,285	66.6

(注) 包括利益 2022年9月期第1四半期 1,541百万円 (39.4%) 2021年9月期第1四半期 1,106百万円 (23.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第1四半期	75.08	ー
2021年9月期第1四半期	85.76	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年9月期第1四半期	61,399	37,944	61.7
2021年9月期	64,276	37,901	58.9

(参考) 自己資本 2022年9月期第1四半期 37,914百万円 2021年9月期 37,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	ー	0.00	ー	100.00	100.00
2022年9月期	ー				
2022年9月期(予想)		0.00	ー	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年9月期の連結業績予想 (2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	△16.4	5,400	△38.2	5,500	△42.6	3,800	△43.1	253.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年9月期1Q	15,348,720株	2021年9月期	15,348,720株
② 期末自己株式数	2022年9月期1Q	357,247株	2021年9月期	357,176株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年9月期1Q	14,991,506株	2021年9月期1Q	14,991,672株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	11
受注及び販売の実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。「(1) 経営成績に関する説明」及び「(2) 財政状態に関する説明」における前年同期や前連結会計年度末との比較は、当該会計基準等を適用する前の前連結会計年度の連結財務諸表を基礎に算定しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載のとおりであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年10月1日～2021年12月31日)の世界経済は、各国の経済対策効果やワクチン接種の進展により景気回復の動きが見られる一方、資源高やサプライチェーンの混乱に加え、新型コロナウイルスの新たな変異株の拡大懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方で、当社グループの属するストレッチブロー成形機業界におきましては、コロナ禍での経済活動縮小による一部顧客の設備投資意欲の減退など、事業活動への一時的なマイナス影響はあるものの、安全で衛生的なプラスチック容器の需要は底堅いものがあり、今後も堅調に推移すると思われま。

こうした環境下、当社グループは「人と社会に豊かさを提供する」「高い技術、サービスで恒久的な存続を追求する」との経営理念に基づき、中長期的な成長発展方針を継続し、事業規模の拡大を見据えた各種戦略的施策の展開に注力しました。

技術面では、当社の得意領域である、高品質・高付加価値生産が特徴のワンステップ成形機の優位性を高める「ゼロ・クーリングシステム」の更なる進化を図り、製品競争力の向上に努めました。また、大量生産機のシェア拡大や、環境問題を含む幅広い用途への利用を企図して、高品質・高付加価値な新型機群の開発を強化しております。

販売面では、主力のワンステップ成形機を中心に競争力強化による市場喚起を行っております。また、高品質な飲料系ボトルの大量生産を得意とする1.5ステップの大型機「PF36シリーズ」が継続して受注を獲得するなど、顧客と市場の幅を着実に広げております。

生産面では、グローバル生産体制の最適化を図るため、増産対応とリスク分散を進めております。具体的には、インド工場での成形機等の生産能力増強と納期短縮を図るべく、工作機械等への設備投資を継続しております。また、日本国内におきましては、将来の事業拡大に備え、本社工場近隣への新たな工場用地の取得を進めております。

環境対応技術では、「3R+Renewable」への取り組みを継続し、「材料使用量の削減」、「PETボトルリユースの提案」、「リサイクル材料の使用促進」、「バイオプラスチックのボトル成形」などのソリューションを提供することで、環境配慮型の技術提案を強化しております。なお、リサイクル材料を使った二層成形法には国内外からの多くの引き合いをいただいております。市場萌芽に向けた技術革新を今後も続けてまいります。

販売成績につきましては、生活必需品容器を中心とした引き合いは底堅いものがあるものの、直近ではコロナ変異株の拡大やサプライチェーンの混乱等の経済への影響により、当期の受注高は7,087百万円(前年同期比65.2%)、受注残高は12,540百万円(前年同期末比68.1%)と前年同期を下回りました。また、売上高につきましても6,847百万円(前年同期比86.8%)と減収となりました。

利益面につきましては、主に減収による影響で、売上総利益は3,152百万円(同84.3%)、営業利益は1,153百万円(同60.1%)、経常利益は1,545百万円(同90.0%)とそれぞれ減益となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益も1,125百万円(同87.5%)と減益となりました。

当第1四半期連結累計期間における損益の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第1四半期	6,847	3,152	1,153	1,545	1,125
前第1四半期	7,886	3,739	1,918	1,716	1,285
前年同期比	86.8%	84.3%	60.1%	90.0%	87.5%

製品別売上高状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
当第1四半期	3,442	2,102	456	845	6,847
前第1四半期	4,362	2,201	487	835	7,886
前年同期比	78.9%	95.5%	93.6%	101.3%	86.8%

製品別の売上高状況につきましては、コロナ禍での不透明な景況感の影響を受け、ストレッチブロー成形機が3,442百万円（前年同期比78.9%）と好調であった前年同期と比べ大きく減少したものの、金型につきましては2,102百万円（同95.5%）と5四半期連続で20億円台をキープし、比較的堅調に推移しております。また、付属機器は成形機に連動して456百万円（同93.6%）と減少したものの、部品その他は845百万円（同101.3%）と堅調に推移しており、多種多様な容器需要を取り込む当社のビジネスモデルの底堅さを示しています。

セグメントの業績は次のとおりであります。

セグメント（地域）別売上高状況

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第1四半期	2,055	1,119	2,585	1,087	6,847
前第1四半期	2,683	1,680	2,470	1,051	7,886
前年同期比	76.6%	66.6%	104.6%	103.4%	86.8%

セグメント（地域）別利益

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第1四半期	197	95	236	1,418	1,947
前第1四半期	534	216	334	1,576	2,661
前年同期比	37.1%	43.9%	70.8%	90.0%	73.2%

① 米州

好調な米国経済のもと、生活必需品等の容器需要の引き合いは北米を中心に依然として底堅いものがあるものの、サプライチェーンの混乱等の影響により、足元の受注環境には停滞感が見られます。それを受け、地域全体の売上高は2,055百万円（前年同期比76.6%）と減収となり、セグメント利益も売上規模の減少等により197百万円（同37.1%）と減益となりました。

② 欧州

コロナ変異株の拡大により社会活動への影響が色濃く残る中、足元の受注環境には改善の兆しが見られるものの、売上高は前期の受注低迷が響き、1,119百万円（前年同期比66.6%）と減収となりました。セグメント利益も売上規模の減少等により95百万円（同43.9%）と減益となりました。

③ 南・西アジア

コロナ禍による影響は域内の新興国に色濃く残るものの、インドを中心に中小型機の引き合いには底堅いものがあり、地域全体の売上高は2,585百万円（前年同期比104.6%）と増収となりました。一方、セグメント利益はインドにおける継続的な設備投資の影響等により236百万円（同70.8%）と減益となりました。

④ 東アジア

コロナ禍での不透明な景況感の影響を受け、各国市場の引き合いは弱含んでいるものの、受注残高の円滑な消化に努めた結果、地域全体の売上高は1,087百万円（前年同期比103.4%）と増収となりました。一方、セグメント利益はグループ会社向けの売上減少の影響等により1,418百万円（同90.0%）と減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：百万円)

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
当第1四半期	43,746	17,653	11,297	12,157	37,944
前連結会計年度	46,318	17,958	13,679	12,695	37,901

当第1四半期連結会計期間末（以下、当期間末）の流動資産は、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ2,571百万円減少し、43,746百万円となりました。また、固定資産は、前期末と比べ304百万円減少し、17,653百万円となりました。この結果、当期間末の資産合計は、前期末と比べ2,876百万円減少し、61,399百万円となりました。

流動負債は、前期末と比べ2,382百万円減少し、11,297百万円となりました。また、固定負債は、前期末と比べ537百万円減少し、12,157百万円となりました。

純資産は、前期末と比べ42百万円増加し、37,944百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年9月期の連結業績予想につきましては、2021年11月10日公表の予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,389	17,541
受取手形及び売掛金	6,841	5,338
商品及び製品	2,363	2,310
仕掛品	7,690	8,355
原材料及び貯蔵品	7,749	8,663
その他	1,353	1,594
貸倒引当金	△69	△58
流動資産合計	46,318	43,746
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	5,156	5,163
機械装置及び運搬具 (純額)	5,317	5,227
土地	1,169	1,169
その他 (純額)	3,498	3,679
有形固定資産合計	15,142	15,239
無形固定資産	120	114
投資その他の資産		
投資有価証券	259	252
その他	2,532	2,145
貸倒引当金	△96	△98
投資その他の資産合計	2,694	2,298
固定資産合計	17,958	17,653
資産合計	64,276	61,399

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,521	3,396
短期借入金	2,125	2,122
未払法人税等	2,091	271
前受金	3,399	—
契約負債	—	3,312
賞与引当金	576	279
役員賞与引当金	47	16
その他	1,917	1,899
流動負債合計	13,679	11,297
固定負債		
長期借入金	10,911	10,369
役員退職慰労引当金	486	480
退職給付に係る負債	770	784
その他	526	522
固定負債合計	12,695	12,157
負債合計	26,374	23,455
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	33,467	33,093
自己株式	△300	△301
株主資本合計	40,223	39,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	27
為替換算調整勘定	△2,340	△1,920
退職給付に係る調整累計額	△43	△42
その他の包括利益累計額合計	△2,350	△1,935
非支配株主持分	28	30
純資産合計	37,901	37,944
負債純資産合計	64,276	61,399

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
売上高	7,886	6,847
売上原価	4,146	3,695
売上総利益	3,739	3,152
販売費及び一般管理費	1,821	1,998
営業利益	1,918	1,153
営業外収益		
受取利息	36	34
受取配当金	3	3
為替差益	—	364
受取手数料	33	—
その他	11	6
営業外収益合計	84	408
営業外費用		
支払利息	14	11
為替差損	213	—
訴訟関連費用	55	4
その他	3	1
営業外費用合計	286	16
経常利益	1,716	1,545
税金等調整前四半期純利益	1,716	1,545
法人税、住民税及び事業税	390	137
法人税等調整額	37	282
法人税等合計	427	419
四半期純利益	1,288	1,125
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,285	1,125

(四半期連結包括利益計算書)

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,288	1,125
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	△6
為替換算調整勘定	△172	421
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	△182	416
四半期包括利益	1,106	1,541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,102	1,540
非支配株主に係る四半期包括利益	3	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、収益認識会計基準等の適用による、当第1四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受金」は、当第1四半期連結会計期間より「契約負債」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,683	1,680	2,470	1,051	7,886	—	7,886
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13	10	1,842	4,743	6,609	△6,609	—
計	2,696	1,691	4,312	5,794	14,496	△6,609	7,886
セグメント利益	534	216	334	1,576	2,661	△743	1,918

(注) 1. セグメント利益の調整額△743百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△834百万円、セグメント間取引消去91百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	2,055	1,119	2,585	1,087	6,847	—	6,847
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,055	1,119	2,585	1,087	6,847	—	6,847
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34	—	1,957	3,824	5,817	△5,817	—
計	2,090	1,119	4,543	4,912	12,664	△5,817	6,847
セグメント利益	197	95	236	1,418	1,947	△794	1,153

(注) 1. セグメント利益の調整額△794百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△866百万円、セグメント間取引消去72百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の実績

① 受注実績

製品別	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	6,864	11,641	3,666	7,261	53.4	62.4
金型	2,375	5,437	2,058	4,115	86.7	75.7
付属機器	791	1,224	477	993	60.4	81.2
部品その他	833	111	883	169	106.0	151.6
合計	10,865	18,415	7,087	12,540	65.2	68.1

セグメント別	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
米州	3,274	6,215	1,789	4,166	54.6	67.0
欧州	2,110	3,904	1,819	2,094	86.2	53.6
南・西アジア	2,942	4,453	2,511	3,620	85.3	81.3
東アジア	2,537	3,841	966	2,659	38.1	69.2
合計	10,865	18,415	7,087	12,540	65.2	68.1

(注) なお受注高の計算に際しては、前期以前に受注した案件のキャンセルは前期末受注残高より控除しております。

② 販売実績

製品別	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ストレッチブロー成形機	4,362	55.3	3,442	50.3	78.9
金型	2,201	27.9	2,102	30.7	95.5
付属機器	487	6.2	456	6.7	93.6
部品その他	835	10.6	845	12.3	101.3
合計	7,886	100.0	6,847	100.0	86.8

セグメント別	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
米州	2,683	34.0	2,055	30.0	76.6
欧州	1,680	21.3	1,119	16.3	66.6
南・西アジア	2,470	31.3	2,585	37.8	104.6
東アジア	1,051	13.4	1,087	15.9	103.4
合計	7,886	100.0	6,847	100.0	86.8